

船舶事故調査報告書

平成24年11月29日
 運輸安全委員会（海事専門部会）議決
 委員 横山 鐵 男（部会長）
 委員 庄 司 邦 昭
 委員 根 本 美 奈

事故種類	衝突
発生日時	平成23年8月26日（金） 15時05分ごろ
発生場所	香川県高松市 ^{おぎ} 男木島南端の西方付近 高松市所在の男木港一文字防波堤灯台から真方位188° 270m 付近 （概位 北緯34° 25.1′ 東経134° 03.2′）
事故調査の経過	平成23年9月7日、本事故の調査を担当する主管調査官（広島事務所）ほか1人の地方事故調査官を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。
事実情報 船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等 L×B×D、船質 機関、出力、進水等	A 水上オートバイ ^{あそびにん} 遊人Ⅱ、0.2トン 280-43395香川、個人所有 2.89m (Lr) × 1.10m × 0.46m、FRP ガソリン機関、132kW、平成23年7月 B 水上オートバイ カイト丸、5トン未満 240-48816香川、個人所有 2.70m (Lr) × 1.11m × 0.46m、FRP ガソリン機関、89kW、平成11年5月
乗組員等に関する情報	A 船長A 男性 44歳 二級小型船舶操縦士・特殊小型船舶操縦士・特定 免許登録日 平成6年2月9日 免許証交付日 平成21年4月20日 （平成26年6月20日まで有効） B 船長B 男性 22歳 特殊小型船舶操縦士 免許登録日 平成21年7月23日 免許証交付日 平成22年9月24日 （平成26年7月22日まで有効）
死傷者等	A 重傷 1人（船長A）、軽傷 1人（同乗者A） B なし
損傷	A 右舷船首に亀裂及び擦過傷 B 船首船底に擦過傷
事故の経過	A船及びB船は、平成23年8月26日13時00分ごろ、高松市

	<p>女木島の砂浜で休憩をとったのち、A船には前部席に船長Aが、後部席に同乗者Aが、B船には前部席に船長Bが、後部席に同乗者Bがそれぞれ乗船し、14時00分ごろ女木港を出発した。</p> <p>両船は、女木島の東側海域を北進して男木島の北端に至ったのち、15時00分過ぎ、男木島南端の西方沖まで南下し、A船は速力約30km/hで、B船はA船の右舷約10m後方を速力30～35km/hでそれぞれ航走していたところ、B船が、A船に追い付くように接近したのちに左転し、15時05分ごろ、男木港一文字防波堤灯台から真方位188°270m付近において、B船の船首がA船の右舷船首付近に衝突した。</p> <p>船長Aは、左舷側の男木島南端を注意して見ていたので、B船がすぐそばに接近するまで、右舷側のB船の動きを正確に把握していなかった。</p> <p>船長Aは、胸部が自船の操縦ハンドルに当たり、全治2か月の入院加療を要する右肋骨多発骨折及び右閉鎖性腎破裂を負い、同乗者Aは、右足膝打撲及び3針の縫合を要する挫創を負ったが、B船には負傷者はいなかった。</p> <p>A船は、損傷が大きく、廃船となった。</p>
<p>気象・海象</p>	<p>気象：天気 曇り、風向 南東、風力 2、視界 良好</p> <p>海象：海上 平穏</p>
<p>その他の事項</p>	<p>船長Aと船長Bは、友人同士であった。</p> <p>船長Bは、本事故後、船長Aに対し、前方の海面に大きな浮遊物を認め、これを避けようとしてとっさに操縦ハンドルを左に切ったと話した。</p> <p>船長Aは、B船が左転したときの旋回半径は、約15mであると思った。</p>
<p>分析</p> <p>乗組員等の関与</p> <p>船体・機関等の関与</p> <p>気象・海象の関与</p> <p>判明した事項の解析</p>	<p>A なし、B 不明</p> <p>A なし、B 不明</p> <p>A なし、B 不明</p> <p>A船は、男木島南端の西方沖において、速力約30km/hで南進中、B船は、A船の右舷約10m後方を速力30～35km/hで南進中、B船がA船の右舷後方から追い付きながら左転したことから、B船の船首とA船の右舷船首付近が衝突したものと考えられる。</p> <p>B船の運航状況及び船長Bの行動については、船長Bから情報が十分に得られなかったため、詳細を明らかにすることはできなかった。</p>
<p>原因</p>	<p>本事故は、男木島南端の西方沖において、A船が速力約30km/hで南進中、B船がA船の右舷約10m後方を速力30～35km/hで南進中、B船がA船の右舷後方から追い付きながら左転したため、両船が衝突したことにより発生したものと考えられる。</p>

参考	<p>今後の同種事故等の再発防止に役立つ事項として、次のことが考えられる。</p> <ul style="list-style-type: none">・ 水上オートバイ 2 隻が接近して航走するときは、両船間の距離を適切に保ち、減速すること。
-----------	--